

みずほCustomer Desk Report 2021/10/21 号 (As of 2021/10/20)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	114.68
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	114.54	1.1632	133.23	1.3794	0.7476
SYD-NY High	114.69	1.1658	133.48	1.3832	0.7522
SYD-NY Low	114.08	1.1617	132.74	1.3743	0.7465
NY 5:00 PM	114.35	1.1650	133.19	1.3823	0.7516
NY DOW	35,609.34	152.03	日本2年債	-0.1200	0.00bp
NASDAQ	15,121.68	▲ 7.41	日本10年債	0.0900	0.00bp
S&P	4,536.19	16.56	米国2年債	0.3864	▲ 1.20bp
日経平均	29,255.55	40.03	米国5年債	1.1654	0.10bp
TOPIX	2,027.67	1.10	米国10年債	1.6594	1.91bp
シカゴ日経先物	29,325.00	▲ 90.00	独10年債	-0.1245	▲ 0.90bp
ロンドンFT	7,223.10	5.57	英10年債	1.1455	▲ 1.70bp
DAX	15,522.92	7.09	豪10年債	1.8020	5.90bp
ハンセン指数	26,136.02	348.81	USDJPY 1M Vol	6.38	▲ 0.05%
上海総合	3,587.00	▲ 6.15	USDJPY 3M Vol	6.52	0.07%
NY金	1,784.90	14.40	USDJPY 6M Vol	6.65	0.08%
WTI	83.42	0.98	USDJPY 1M 25RR	0.05	Yen Put Over
CRB指数	240.351	2.10	EURJPY 3M Vol	6.48	0.05%
ドルインデックス	93.56	▲ 0.18	EURJPY 6M Vol	6.88	0.06%

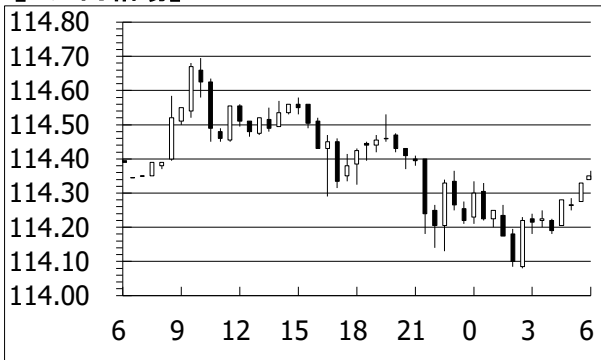
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月20日	08:50	日 貿易収支	9月 -¥622.8b	-¥530.4b
	15:00	英 CPI(前月比/前年比)	9月 0.3%/3.1%	0.4%/3.2%
	15:00	独 PPI(前月比/前年比)	9月 2.3%/14.2%	1.1%/12.8%
	18:00	欧 CPI(前月比/前年比)・確報	9月 0.5%/3.4%	0.5%/3.4%
10月21日	02:00	米 クオールズFRB副議長 講演	「米経済は極めて良好かつファンダメンタルズは健全」	
	03:00	米 ベージュブック	「一部の地域は成長鈍化も全般的に緩やかなペースで拡大」	
	05:30	米 メスタークリーブランド連銀総裁 講演	「インフレは来年鈍化見込みも、FRBのテーパリング開始を支持」	

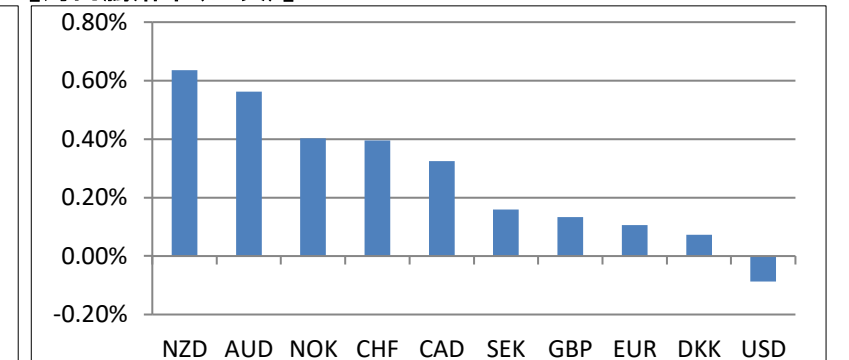
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月21日	21:30	米 新規失業保険申請件数	Oct-21 297k	293k
	21:30	米 フィアデルフィア連銀景況	10月 25.0	30.7
	23:00	米 中古住宅販売件数	9月 6.09m	5.88m
	23:00	欧 消費者信頼感	10月 -5	-4

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	114.00-114.90	1.1590-1.1690	132.60-133.80

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は海外時間に軟化。仲値にかけて114.69まで上昇も、17年11月高値である114.73を前に失速。海外時間に米金利が低下する動きにドル円は114.08まで下落するも、その後は114円台前半での推移となった。昨日の米20年債入札を受けて、米長期金利は前日終値ベースで上昇。原油などのコモディティ価格にも上昇圧力が継続している状況。ドル円については、昨日は114.73を前に失速したが、前述の2要因がサポート材料になるほか、114円付近は底堅い印象。本日のドル円は引き続き上値を試す展開になる蓋然性が高いのでは。

東京	東京時間のドル円は114.54レベルでオープン。五・十日でもある中で仲値にかけて上昇し114.69をつける。ただし、2017年11月の高値の114.73もレジスタンスとして意識される中で上抜けすることはなく推移。一方で下値も堅く114.50を挟んだ推移のまま114.51レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	本日ロンドン市場ドル円は114.51レベルでオープン。前半は米長期金利が軟調に推移した事を背景にドル円も114.29まで値を下げた。その後はポジション調整に若干値を戻し114.40レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	海外市場では4年ぶりのレベルである114.69まで上昇するが、本邦輸出企業のドル売りやオプション絡みの売りが持ち込まれたとの話に114.29まで反落し、114.40レベルでNYオープン。朝方は上昇していた米金利が低下する動きにドル売りが先行し、114.13まで下落する。その後やや買い戻される局面もあったものの、ドル売りが継続し114.08まで下落する。午後発表された米20年債の入札結果で応札倍率が前回から低下したことから低下していた米金利が上昇する展開に、ドル円はじり高で推移する。米ベージュブックでは一部の地区は成長鈍化を報告したことや、労働力不足が成長に重しなど一部懸念が示されたものの、この内容を受けたドル円の反応は限定的となり、終盤に掛けてメスター・クリーブランド連銀総裁のインフレは来年鈍化するが、我々は注視するとの発言が伝わったこともあり114.36まで戻し、114.35レベルでクロスした。一方、海外時間に効派で知られるワイトマン独連銀総裁が年末に辞任するとのニュースを受け、次期総裁は今程効派にはならないとの見方からユーロドルは1.1617まで反落し、1.1623レベルでNYオープン。朝方はドル売りが先行したことから1.1652まで戻す。午後は一旦1.1658まで戻したが、前日の高値1.1670を抜けることができず、低下していた米金利が米20年債入札結果を受けドル買いが強まったことからユーロドルは上値を抑えられ1.1650レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:上野・上遠野